

くつきの森 ニュースレター

第52号 2024年12月28日発行
NPO法人麻生里山センター
〒520-1451 高島市朽木麻生443
Tel. 0740-38-8099
Fax 0740-38-8012
E-mail: asosatoyama@zb.ztv.ne.jp

TOPICS

くつきの森 冬の過ごし方



約 150 ヘクタールの広さがある森林公園くつきの森。皆さんもご存じのように、ここには季節の移ろいとともにもその表情を変えていく景色の中で、さまざまな楽しみ方があります。その中で、今回はくつきの森の冬の楽しみ方をご提案します。

● アウトドア派のあなたに

なんと言ってもくつきの森の冬は、他の季節とはまったく違った景色に染まります。すっかり葉を落とした広葉樹の森の中は、雪があってもなくても明るく静かで、寒い中でもゆっくり散策すると清々しい気分になります。

雪が積もったら、スノーシューに履き替えて真っ白い雪の上を歩いてみましょう。くつきの森ではスノーシューをレンタルしています。寒さをこらえて、緑を保っているスギやヒノキ、葉っぱをすっかり落して枝と幹だけになった広葉樹、雪の下でじっと春を待つ低木や草たち、そして厳しい冬を一生懸命生き抜いている動物たちの足跡が皆さんを出迎えてくれます。ユリノ



キ広場や恵みの広場に雪が積もっていたら、子どもの頃を思い出してかまくらや雪だるまを作ったり、雪合戦に興じてみましょう。雪の量によっては、雪像作りにチャレンジしてみるという選択肢も。渾身の力作あるいは名作、迷作(?)が完成したら、くつきの森のInstagram等でぜひ紹介させてください。

● インドア派のあなたに

「冬は寒い!」「雪は冷たい!」「やっぱりヌクヌクしたい!」そんな方には、やまね館でゆったり過ごしていただくことをご提案します。薪ストーブで暖を取りながら、読書に興じたり、編み物をするというのはいかが? スタッフとの他愛のない世間話もまた一興です。冬のやまね館でことごと自分の時間に没入しましょう!



やまね館の厨房をレンタルしていただくと、さまざまな調理器具や食器類をご利用いただけます。例えば、持ち込んだ食材をトッピングにして窯でピザを焼いたり、鍋パーティも楽しむのもOK! きっと、心温まるひと時が過ごせますよ。



冬のくつきの森を
お楽しみいただくために

森林公園くつきの森は、高島市内の山間部に位置しているため、湖岸よりは降雪・積雪量が多めです。冬道のドライブには、スタッドレスタイヤなどお車の冬支度も必須です。道路状況などは事前に把握して、安全運転でお越しください。



左のQRコードから「ロードネット滋賀」のホームページにアクセスすると、高島土木事務所管内の道路状況をご確認いただけます。

警報級の大雪などによりスタッフが出勤できない場合や、荒天により園内の安全が確保できない場合等には臨時休館する場合があります。開園状況については、森林公園くつきの森のホームページをご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

2025年



2024年春からくつきの森のスタッフに加わった木下 彰(き)から新年のご挨拶を申し上げます。20周年を迎えるくつきの森を本年もどうかよろしくお願いたします。大いに楽しみましょう!

できごと いろいろ

2024年 夏・秋

ミュージックビデオ撮影

7/21(日)

神戸を拠点として活動されている4人組レゲエグループ「MACK JACK」さんのミュージックビデオの撮影をくつきの森で行っていただきました。曲の名は「風林火山」。YouTubeで公開されている動画には、くつきの森の恵みの広場周辺や、麻生川の河原で撮影されたシーンが出てきますよ！



動画はこちらから
ご覧いただけます

これから、どんなメディアや番組でくつきの森が見られるでしょうか？

乞うご期待！

すみまちキャンプ

8/22(木)~23(金)



朽木地域住みよいまちづくり推進協議会(通称:すみまち)は、高島市内に6つ設けられた住民自治協議会の組織のひとつです。その事業の一環として、夏休みに、朽木地域の子どもたちと大人たちによるキャンプ企画をユリノキ広場で実施しました。

天候にも恵まれ、子どもたちは自分たちでカレーを作ったり、川遊びにスイカ割りと、2日間にわたって野外活動を満喫。サポートの大人たちもしばし童心に返って、たくさんの笑顔があふれるひとときになりました。

森林組合イベントに出店

10/19(日)

高島市森林組合が開催したイベント”Re Woods (リ・ウッズ)に森林公園くつきの森として出店しました。天候はあいにくの雨模様でしたが、たくさんのブースが並んだ会場には多くのお客様がお越しになり賑わいました。



くつきの森のブースでは、くつきの森グッズの販売とビンゴや福笑いなどのイベントなどを実施しました。

「森のダジャレ大会」では参加した子どもたちが切れ味鋭いダジャレを連発して会場を沸かせていました。

みんなで水族館

8/4(日)



「つながる子育て たかしまおさんぽ会」さんとの特別企画です。大津市の木戸で小さな水族館を運営されている「びわこベース」さんをお招きして、まずは参加者で麻生川にじゃぶじゃぶ入って、いろんな魚を捕まえました。

みんなで捕まえた魚は水槽に入れ、2台の軽トラの荷台を突き合わせてこしらえた特設水族館で展示。世界にここだけの、たったひとつの水族館です。びわこベースの皆さんの楽しい解説に、大人も子どもも学びを深める1日になりました。

滋賀県立大学生 実習

9/7(土)~8(日)

この時期、毎年来られている滋賀県立大学の皆さん。今年も1泊2日で籠谷 泰行 講師と8名の学生さんがくつきの森に来てくれました。



日中は森林調査。夜はやまね館のホールでデータの分析演習。現場での学びが未来の森の担い手を育ててくれることを願って止みません。

やまね館にはWi-Fi 環境があるので、リモート会議やセミナーなどにもご活用いただけます。是非ご活用ください。

(お手数ですが、PC、zoomアカウントはご準備ください。詳細はくつきの森スタッフまでどうぞ)

森さんぽ

11/10(日)

この企画は、くつきの森でスタッフのスケジュールのスキを衝いて突然予定ができるタイプのもので、年に数回あります。今回は、9名の参加者とともにやまね館の北側の尾根をたどる「アチラ山コース」を歩きました。

この日は天候にも恵まれ、参加者の皆さんは和気あいあいとした雰囲気でのんびりと森を散歩できました。

次の実施は未定ですが、予定が生まれたらくつきの森のブログで突然お知らせします。平日開催の場合もあります。



利用団体紹介

薪ネット様

ここでは森林公園くつきの森をご利用・ご支援いただいている団体様を紹介していきます。トップバッターは、森林公園くつきの森が発足した当初から活動を続けておられる団体のひとつ「薪ネット」様です。

薪ネット様には、毎年3月から12月まで、基本的には毎月第4土曜日に、くつきの森で森林作業のお手伝いをしていただいています。現在のメンバー数は約15名、30歳代から70歳代までのさまざまな職業の方がおられます。

くつきの森が発足した2005年頃は、日本中の森林で「ナラ枯れ」が深刻な問題になっていました。くつきの森も例外ではなく、園内では多くのコナラやミズナラといったナラ類の木々が立ち枯れていました。その原因は、樹木の中に、カシノナガキクイムシという虫が持ち込んだ病原菌(カビ)が、樹木の生命活動の根本である

水の吸い上げを阻害すること。一度取りつかれてしまうと、どんなに元気な樹でも立ち枯れてしまいます。しかも、虫の活動により木から木へと伝染してしまうため、伐採した木もそこからすぐ移動させることはできません。そのため、ナラ枯れした木はその場で伐採・乾燥させ、薪にする活動を始めたのが薪ネット様です。最初のメンバーは、現在も活動を続けられている榊さんをはじめとする3名でしたが、そこから現在までメンバーを少しずつ増やして活動されています。



活動は、伐採、枝払い、運搬、薪割り作業に至るまでの森林作業全般。活動のためには、さまざまな樹木の特徴や、作業で使うチェーンソーなどの仕組みやその使い方など、たくさんの知識と知見と経験が必要ですが、くつきの森での作業に関わったり、メンバーの間で知識と経験を共有し深められています。

ここまで書いてくると、どこかカッコイイイメージを感じられるかも知れませんが、実際の作業中は皆さんいって明るく朗らかで、ふだんは多種多様な分野で活躍されている各メンバーから繰り出されるすべらない話の数々に、活動日には集まってから解散するまで笑いが終始絶えません。継続の秘訣は、「決めごと」は最低限(ケガをしないこと)にして、ゆるやかな集まりにしていること(榊さん談)。

こんな薪ネット様の活動やメンバーの顔ぶれが気になった方は、いつでもご参加ください。参加条件は、くつきの森の会員になること。どなたでも参加していただけます。作業に入られる際は、長袖長ズボン、軍手、長靴、汗拭き用タオルなど、森林作業ができる服装と、作業道具(お持ちの方は)、昼食の用意をして、くつきの森に毎月第4土曜日午前10時にお越しください。お待ちしております!

(1月2月および、猛暑の時はお休み)

● 連絡先(担当者):
森林公園くつきの森 木下(き)まで
お願いします

～どんぐりプロジェクトから～

植樹式と修了セレモニー 12/6(金)

太陽生命保険株式会社様との協業で朽木東小学校で実施している「どんぐりプロジェクト」。2024年で11回目になりますが無事に植樹式と終了セレモニーの時を迎えることができました。天気予報が良いほうに外れた初冬の青空の下、6年生の皆さんは育ててきたクヌギの苗をくつきの森の太陽生命の森林内に植樹地に植え付け、その後小学校で修了セレモニーに臨みました。

皆さんが大人になった時、今日植えたクヌギの木はどうなっているでしょうか。いつでも見に来てください。



植樹式の様子(くつきの森)



修了セレモニー(朽木東小学校)

～いきものいろいろ～ ハリガネムシ

ユリノキ広場でツルミたいな落としもの。と思ったらういーんっと動いた!雪のこの時期によく出会う。カマキリを操作して水没…実はこれが川の生きものにとっては大切な栄養。森と川を強くつなぐまさに針金!



雪の上でうごめくハリガネムシ(写真と文=石脇 和(い))

やまのこ

やまのこ指導員・長澤由香里

大切にしたい「なぜ？」

森のなかで子どもたちの「なぜ？」を聞くと嬉しくてワクワクします。そして、「なぜ？」と思うことはすごいことだと思っています。それはもう、そこにある自然に一步踏み込んだ証拠だからです。ひとつのことを知ってそれがなにか見えてくると目に映るものも変わります。



まます。
 どんどんと森を進み、あそこにも！ここにも！さまざまなものに目を凝らし、頭をくっつけて覗き込む子どもの姿はさ

ながら探検家のようなです。ひとつひとつが違うことや違うことがかかわり合っていること、「ああ、そうか！」の気づきはひとりひとりの宝ものです。



くつきの森のやまのこでは、森の木や生きもの、土、川の水のお話しをしますが、欠かせないのは「生の自然に触れて確かめる」ことです。簡単に情報を得られる時代であっても言葉や知識の先歩きではなく、驚きや不思議、心揺さぶる経験が子どもたちと森や自然を身近するものでありたいと思います。ゆっくりでいいから、私たちが多くのいのちのなかに生きていることをからだどころで感じとってほしいです。

●あれこれ

来訪者の声

～ドローンの日について～

「ドローンを飛ばしてみたいと思っても、飛ばせる場所がないのが、ドローン初心者の悩みのタネ。そんなとき、くつきの森でドローンの日ができたことを知り、時々お世話になった。あまり知られていないのか、今まで私がドローンの日に来た時はいつも一人だけ。広い広場で思い切り飛ばすことができる。とても楽しい。でも、私のように毎日日曜日の人は、いいけど、仕事を持っている人はその日に合わせて来るのは難しいだろうな。ドローンの日以外でも広場が空いていれば飛ばせるということになれば、もっと多くの人がドローンを楽しめるんじゃないのかな!？」(ドローンけんちゃん様)

スタッフがお答えします

ドローンけんちゃん様、ヘビーユーザー(?)としての率直なご感想をありがとうございます。ドローンの日は、くつきの森のユリノキ広場でドローンをより安全に楽しく飛ばしていただきたいという思いで毎月第二木曜日に設定していますが、この機会と環境がより知られることで、利用者が増えてさらなる交流や情報交換の機会になるよう、今後は気象条件や他の来訪者の皆さんの利用状況を踏まえながら、設定日の追加を検討していきます。

(き)

園内整備 進めています



来訪者の皆さんが、より安全に、より楽しくくつきの森を楽しめるように、園内各所で草刈りをしたり、遊歩道の整備を進めています。また、枯れたり倒れそうな木を伐採して運搬するために、スタッフの知恵と力と汗と涙(?)で重機などが通る道も作っています。2025年もがんばって作ります!



2025年は くつきの森 20周年!

2025年度は、森林公園くつきの森が発足して20年目の節目の年。支えていただいた皆さんへの感謝の気持ちと、これからのくつきの森と自然への思いを込めて、年度を通じてイベントの開催などを含めた記念事業を計画しています。

その第一弾として、2025/5/24(土)に「ユリノキまつり」を久しぶりに開催する予定。詳細については、次のニュースレターでお知らせします。

くつきの森 行事カレンダー 2025年1~3月

3/2(日) やまのこ番外編

- ・積雪状況により、随時冬の「森さんぽ」を開催していく予定です。詳細はホームページでお知らせします。
- ・餅つきなどの持ち込み企画、大歓迎! くつきの森のスタッフがお手伝いします。

●編集後記

「じゃあ、ニュースレターお願ひしよっかな」という(え)さんの一言で、今号から担当を仰せつかった(き)です。住んでいる地域では水に関するガイドをしていたりしますが、その水の源になっている朽木の山や森に関してはまだまだ勉強しなければならぬことがたくさんあって大変です。そんなわけでこれからよろしくお願ひいたします(き)